

This image shows a collection of hand-drawn cards, likely from a Japanese graduation ceremony. The cards are arranged on a white background with a large red and blue brushstroke graphic in the top right corner. The cards are framed in various colors (blue, yellow, green, pink) and feature different messages of thanks and well-wishes. Some cards mention specific names like '田丸 桃香' (Tomaru Momoka) and '大中 フラボーン' (Ochiai Flabone). The messages are written in Japanese, often starting with '3年間ありがとうございました' (Thank you for three years). The overall style is colorful and personal, with many cards featuring floral illustrations.

「これから見る人生の景色とは、どんなものでしょうか。美しく感動的な景色と出会うことを願っています。でも、人生はうまいことばかりではないのです。だから人生は面白く奥深いのだと私は思っています。自分が思うようにならないことの方が多いかもしれません。

私がガンにおかされたこともその一つです。どうしてガンになつたんだね？と、運命を恨みたくもなりました。しかし自暴自棄になり、自分を見失うようなことを思つても仕方ありません。それより、主治医とともにガンに対してもやるべきことを一つずつ冷静にクリアする方が重要な



「勇気とは静かなる」と
卒業おめでとうございます。
これから見る人生の景色とは、どんなものでしようか。美しく感動的な景色と出会うことを願っています。
でも、人生はうまいことばかりではないのです。だから人生は面白く、奥深いのだと私は思っています。自分が思うようにならないこの方が多いかもしません。

私がガンにおかされたこともその一つです。どうしてガンになつたんだろうと、運命を恨みたくもなりました。しかし自暴自棄になり、自分を見失うようなことを思つても仕方ありません。それより、主治医とともにガンに対してもうべきことを一歩づつ冷静にクリアする方が重要なことです。要は、日々穏やかに笑顔を絶やさず自然体で生活していくことが、これで生活するということです。でも、病室でこのように生活することは、とても難しいことでした。

ガンになつたおかげで、これまで見えなかつた多くのことに気づくことができました。今ではガンに感謝する気持ちさえもあります。失敗や悪い出来事は誰しも避けたいものです。でもそんな中にこそ、人生を切り開く大きなチャンスが隠されているのです。決して恐れることはないのです。

さあ、船出です。ドラマは始まります。自分を信じ行く道を決定し、前進していくください。あなた達でしか見られない景色が、そこには広がっているのです。

「勇気とは静かなること」

のです。でも、ガンと勝負するんだ

旧生徒会長
内海
愛望

の縁も深まっていきました。

旧生徒会長 内海 愛望

大成館中学校で過ごした三年間は、楽しいことばかりではありませんでした。何回も大きな壁にぶつかりました。しかし、その度に学年集会を開くことで、全員で力を合わせて乗り越えてきました。今ではその日々が懐かしくとても良い思い出となっています。

この三年間、大成館中学校で生活してきたことで、私たちはリーダーという自覚をもち行動することができたと思いません。初めのうちはなかなかまとまりず、行事の前には学年集会が毎回といつていほどありました。回を重ねるごとに、私たちちは成長していき、だんだんとみんなで力を合わせて行動するようになりました。

卒業生の皆さん、「卒業おめでとう！」

皆さんはリーダーとして僕たちを歌、行事、生徒会、部活動などの色々な場面で引っ張つて下さいました。力強く美しい歌声、体育祭での迫力ある応援、文化祭での圧巻の演技、部活動や委員会で様々な指導をしていただいたことが先輩との思い出です。二年生は先輩から受け継いだものの重みと人を引っ張ることの難しさを感じています。

今、皆さんは夢と希望を胸に抱き、それぞれの道へと歩み出そうとしておられ



なの絆も深まっていきました。

大成館中学校といえば、歌声です。歌声づくりは、代々先輩から受け継いできた大切な伝統文化です。一年生の時は、恥ずかしくて全然声が出なかつたけど、最高学年に近づくにつれて、だんだんと声が出てまとまつた歌声になりました。だから、今の「一年生」に、大中の歌を受けついでいつでも泣くふと信じています。そして、私たちももつと飛躍していきます。

最後に、「これまで」指導していくださつた先生方、三年間見守つてくださいました保護者の皆さん、本当にありがとうございました。

